

目 次

記憶の中の風景がよみがえる町民必読の書

真田町誌の近代・現代編を監修して

凡 例

第一編 近代

第一章 真田町域の明治維新……………

第一節 上田藩から長野県へ……………

1 戊辰戦争と農民負担……………

2 上田一揆……………

3 上田県から長野県へ……………

第二節 戸籍区・大区小区制と三か村の成立……………

1 戸籍区の設置と戸籍の編制……………

2 大区小区制の実施と三か村の成立……………

3 徵兵制実施と西南戦争への参加……………

第三節 新しい税制と産業の変わりはじめ……………

真田町誌刊行会会長 箱山 好猷
長野県短期大学学長 上條 宏之

年貢から地租へ税制が変わる	1
山林・原野の地租改正と官民有区分	2
主穀生産と養蚕中心の農業	3
蚕種生産と諸稼ぎ	4
近世の制約から解放された交通	5
第四節 神仏の分離と学校教育の開始	
1 白山社が山家神社に変わる	40
2 神社の格付けと寺堂の廃止	43
3 寺子屋から学校へ	46
4 生活に現れた文明開化	50
第二章 戸長役場による村政と村民	
第一節 長野県・小県郡と戸長役場による行財政	
1 小県郡の編制	54
2 長・傍陽・本原三か村の戸長役場の設置	57
3 村会の創設と村財政	61
第二節 農牧林業と商工業の新しい動き	
1 米作と畑作	67
2 養蚕と蚕種・製糸業	71

3	北信牧場と山林利用.....
4	商業と鉱工業.....

第三節 新しい交通・通信と村民生活.....

- 1 道路・橋の整備と新しい交通のはじまり.....
- 2 中ノ沢郵便受所・大日方郵便局・長村郵便局・傍陽村郵便局の設置と郵便業務の開始.....
- 3 火災・消防活動と伝染病対策.....
- 4 村の警察と村民生活.....

第四節 小学校教育と村民の文化活動.....

- 1 小学校の設立と維持.....
- 2 小学校の児童と教員.....
- 3 夜学の開始と村誌の編集.....
- 4 神社・寺院と村民の祭礼.....

第三章 村役場による村政と村民.....

第一節 三つの村役場による行財政.....

- 1 村役場が開かれ、村長らが村政をなう.....
- 2 村会と村財政.....
- 3 区による財産管理と区民.....

第二節 郡会・県会・国会と村民のかかわり.....

1 郡政・郡会と三か村
2 県会や国会と村民

第三節 産業の発達と交通網の整備

1 農事改良と農業諸団体

2 山林の保全と林野の利用

3 商工業と金融

4 道路の整備と交通の変化

第四節 日清・日露戦争と村々

1 日清・日露戦争と村民

2 愛国婦人会・在郷軍人会など諸団体の結成

3 衛生・防災施策の向上

第五節 小学校教育の拡充と社会教育活動

1 教育施設の整備と高等科の設置

2 小学校教育と女子補習学校の設立

3 夜学と青年会・婦人会の活動

4 真田神社の建設と寺社の動き

第四章 大正デモクラシー期の真田町域

第一節 村行財政の展開と地方改良運動

1	村の世帯・人口と出寄留範囲の拡大	164
2	村政の展開と村政をささえる組織	175
3	村財政の増大と地方改良運動	181
第二節 青年層の社会的活動と郡政・県政・国政		
1	村委会と日露戦後・第一次世界大戦後の青年諸活動	181
2	小県郡政・長野県政・国政と真田町域	189
第三節 農牧林業・商工業の発達と産業諸団体活動のひろがり		
1	米作・養蚕技術の進歩	199
2	農会活動と産業組合運動の進展	203
3	菅平の農牧業	206
4	発電所の設置と商工業	208
第四節 道路・鉄道など新交通体系の整備		
1	郡道・県道など道路の整備	211
(1) 道路の整備 / (2) 道路交通の発達		212
2	上田温泉電軌株式会社と北東線	214
3	北東線の建設 / (2) 鉄道利用の状況	218
郵便と電話の普及		

第五節 第一次世界大戦と村民生活の変化

- 1 第一次世界大戦・米騒動前後の村民生活 221
- 2 電灯の導入と村民生活 224
- 3 菅平とスキー 227
- 4 医療・消防・警察 231

第六節 教育・文化の発展と青年・女性の活動の広がり

- 1 六年制小学校と教育行政 235
- 2 実業補習学校の設立と中等教育 237
- 3 青年会・婦人会活動の拡充と『時報』の発行 240
- 4 神社の統合と村民意識の変化 245

第五章 昭和恐慌から十五年戦争へ

第一節 大恐慌・満州事変と村政・村民

- 1 大恐慌・経済不況と村の行財政 250
- 2 普通選挙による村委会議員選挙と村委会 252
- 3 救農土木事業 255
- 4 菅平のスキー 256

第二節 日中戦争と国民精神総動員

第三節 経済更正運動と戦時統制経済の展開	260
1 戰時体制下の村の行財政	261
2 すすむ戦争動員	262
3 国民精神総動員運動と常会・隣組	264
4 社会諸団体の統合	267
第四節 戦争の長期化と村民生活	267
1 生活物資の欠乏と配給	269
2 消防団から警防団へ	277
3 村の衛生	285
4 社会事業と国民健康保険	286
5 交通・通信	293
第五節 戦時体制下の教育・文化	296
1 戰時色が強まった小学校と教員・児童	296

2	国民学校の成立
3	青年学校と勤労奉仕
4	時報の廃刊と村民
第六節 太平洋戦争の開戦と敗戦をむかえた日	
1	日米開戦と村の大政翼賛運動
2	村の行財政と村会・区会・常会
3	出征兵士・戦死者の増大と学童疎開
4	村民の昭和二〇年八月一五日
第二編 現代編	
第一章 真田町の成立と町政の展開	
第一節 長村・傍陽村・本原村と戦後の村政	
1 長村	323
2 傍陽村	324
3 本原村	324
4 三か村の村財政と合併への動き	329
第二節 真田町政の開始と展開	
1	332
2	333
3	344
4	344

第一章 真田町の発足

2 真田町政の展開

第二章 人口と世帯

第一節 人口・世帯数と人口動態

1 人口と世帯数の増減

(1) 人口の増減／(2) 世帯数の増減／(3) 増減の地域的概観

2 人口動態

(1) 出生と死亡——人口の自然的増減——／(2) 転入と転出——人口の社会的増減——

第二節 人口の分布と交流

1 人口の分布と増減の地域的特色

(1) 人口の分布／(2) 地区別の人団増減／(3) 過疎化の進行／(4) 都市化の進行／
(5) 菅平の観光開発と人口増加

2 人口の移動と交流

(1) 戦後の人団移動／(2) 転入前の住地と転出先／(3) 転入・転出者の年齢構成／
(4) 人口移動の月別変化

3 通勤と通学

(1) 就業状況と通勤／(2) 通学／(3) 外国との交流

第三節 家族構成と年齢別・性別構成

1 家族構成の変化と核家族化

- (1) 世帯平均人数の減少 / (2) 核家族と単身世帯の増加 / (3) 子ども数の減少 /
- (4) 高齢人口の増加

2 人口構成の変化

- (1) 性別構成 / (2) 年齢構成 / (3) 人口ピラミッド（年齢別性別人口構成図）の変化

第四節 地域の産業構造の変化と働く人々

1 産業別人口構成の変化

2 農業人口の減少と高齢化

3 非農業人口の増加

4 労働力の不足と女性の職場進出

- (1) 若年労働力の不足 / (2) 女性労働者の非農業分野の職場進出

第三章 政治と行財政

第一節 敗戦と戦後政治の開始

1 昭和二〇年八月一五日直後の村社会

2 村政の担い手と村役場の組織

第二節 真田町の成立と町政のしくみ

1 真田町政の担い手と組織

2 町民憲章による真田町の新たな創造

第三節 村議会・町議会と議員

- 1 民主的村議会の成立
- 2 町議会議員
- 3 町議会の構成と運営

第四節 町財政と町の主要事業

第五節 町政の展開と振興計画

- 1 行政の広域化
- 2 國際化と姉妹都市提携
- 3 町の振興計画と町民の関心

第六節 国政・県政とのかかわり

- 1 県知事・県議会議員選挙と真田町民

- 2 国政選挙と議員
- 3 国の研究施設と真田町

第四章 産業と経済

第一節 敗戦と経済復興への努力

- 1 敗戦直後の農林業
- 2 入植と開拓

3	農業協同組合の発足
4	興農協議会の結成と農業振興計画の策定
第二節	産業の地域的特色
1	種類別土地面積から見た特色
2	土地利用の特色
3	主要生産物に見る特色
第三節	産業構造の変化と町の産業施策
1	産業構造の高度化
2	新しい町づくり—新農村建設事業
3	農業の近代化へ—農業構造改善事業
第四節	農林業の変化と菅平開発
1	農林業の変化
2	三農協から信州うえだ農協へ
3	菅平の農業と観光
4	菅平方式による別荘団地の造成と菅平ダム
第五節	鉱業と工業
1	信陽鉱山
2	工場誘致と企業の発展

3 伝統産業の変化

第六節 商業・金融業・サービス業と観光

- 1 商業の移り変わり 503
- 2 金融機関の動き 505
- 3 サービス業と観光 506

第七節 交通・通信の変貌

- 1 有線放送・電話の普及 508
- 2 マイカー時代の到来 509
- 3 上田丸子電鉄真田・傍陽線の廃止 510
- 4 道路の整備 512

第五章 社会生活

第一節 敗戦後の社会事業と村民生活

- 1 戦後の混乱と復興 516
- 2 食糧の配給・供出と食糧調整委員会 517
- 3 三か村の社会生活 519
- 4 女性の意識と文化活動 522

第二節 社会福祉政策と諸施設

1	生活保護と児童福祉……
2	障害者福祉と高齢者福祉……
3	福祉の充実をめざして……
4	社会保険……
5	国民年金……
第三節 生活環境の整備……	
1	住宅事業と公園緑地……
2	上水道と下水道……
3	ゴミの処理と公害・環境問題……
第四節 民衆生活と衛生・医療・人権……	
1	食生活の変化……
2	疾病的変化と公衆衛生……
3	医療施設の充実……
4	同和対策……
第五節 情報・娯楽・スポーツ……	
1	通信の発達……
2	娯楽と文化……
3	スポーツの振興……

第六節 災害・事故・犯罪と対策

- 1 火災と消防………
- 2 災害と対策………
- 3 交通事故・対策と犯罪・防犯………

第六章 学校教育・社会教育と町民文化

第一節 三か村の六三制教育・公民館活動の出発

- 1 敗戦による教育の混乱………
- 2 新しい教育制度………
- 3 社会教育の拠点公民館活動はじまる………
- 4 戦後の青年団・婦人会の活動………

第二節 発展する真田町の教育

- 1 公選制教育委員会の誕生と任命制への転換………
- 2 組合立真田中学校の創設………
- 3 菅平分校の独立と閉校した分校・独立校………
- 4 新教育にともなう諸施設・設備費の増大………
- 5 真田町の社会教育………

第三節 小学校の教育

教育内容の変遷	1
2 移り変わる学校行事	
3 各種新教育の展開	
4 学校同和教育へのとりくみ	
5 学校給食の充実	
6 P T A活動（母親文庫）	
第四節 中学校の教育	604
1 真田中学校	606
2 菅平小中学校	608
第五節 新制高等学校と真田町域	609
1 上田市・小県郡の新制高等学校と通学区の変遷	610
2 小県商業高校傍陽分校の創設と閉校	610
3 中学校卒業生の高校への進学増加	610
第六節 幼児教育の諸施設と保育	611
1 待望の常設保育園設置	612
2 保育園の発展	612
第七節 町民の生涯学習と社会教育	613
1 生涯学習時代の到来と町のとりくみ	613
629	629
625	622
622	622
622	621
621	618
617	617
617	613
613	610
610	608
608	606
606	606
604	604
602	601

2	青少年の健全育成
3	社会同和教育の推進
4	社会体育の推進

第八節 文化財の保護と町民の文化活動

1	真田町の文化財保護と保護事業
2	町民の文化活動と町の文化施設

主な参考文献

編集後記	641
平成十三年度 真田町誌刊行会委員名簿	643
近代・現代編 編纂委員執筆分担	645
近代・現代編 協力者	646
編纂事務局（平成十二年度・平成十三年度）	647
索引	648
ケース「虚空蔵山より望む現在の真田町と真田傍陽線（昭和四七年二月廢線・さよなら記念 切符から）」	630
「唐沢の滝」	632